



## 数々の作品を遺していただきました

子どもたちにたくさんの名作を残してくださった松岡享子さんが1月25日に亡くなられました。松岡さんは海外の名作を日本の子どもたちに訳してくださったのはもちろんのこと子どものための図書館をしっかりと根付かせてくださったことも大きなお仕事の一つだと思います。

### ★走りました!★

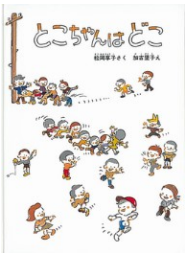


『かしいビル』ウィリアム・ニコルソン：作 まつおかきょうこ&よしだしんいち：訳

ペンギン社

メリーはおばさんから、おうちにいらっしゃいと招待を受けました。たくさん持っていくものがある、カバンが閉まりません。何度も詰め直してるうちに、一番大事なビルを忘れてしまいます。ビルは走って走って・・・

### ★どこ、どこ?★



『とこちゃんはどこ?』松岡享子：作 加古里子：絵 福音館書店

赤い帽子のとこちゃんがどこにいるのかを探す絵本。同じく、翻訳した作品に『どこにいるか わかる?』と言うのがあります。これはアジア各国のお祭りの人込みから、子どもを探す絵本です。子どもたちは、一瞬目を離したすきにどこに行ってしまうのかわからなくて・・・皆さんも気を付けてくださいね。

### ★なぞなぞ遊びっておもしろい!★



『なぞなぞのすきな女の子』松岡享子：作 大社玲子：絵 学研

なぞなぞが大好きな女の子。今日もお母さんを相手になぞなぞを始めようと思ったら、お母さんが今日は他の誰かとなぞなぞをしてちょうだいと言われて、お外に出ていきます。そこで出会ったオオカミとなぞなぞをすることに。『じゃんけんのすきな女の子』も出版されています。

### ★はたらきもの★



『ぶたのうたこさん』ディック・ブルーナ：文・絵 まつおかきょうこ：訳 福音館書店

うたこさんは働き者。特にお掃除は念入りですよ。松岡さんの翻訳はとても平易な言葉を丁寧に使われています。でも、何でも無いような文章の中に、きらりと光る言葉があって、私のこの作品でのお気に入り「きりりとえぶろんをしめて」という言葉です。お掃除を徹底的にやるぞと言う決意がみなぎった言葉だなあ～って感じがしませんか？